

## 新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について

令和2年11月19日  
伊丹市長 藤原保幸

11月18日、兵庫県におきまして、直近1週間の1日当たりの新型コロナウイルス新規感染者数としては過去最多の79.6人に達しました。県内で確認された感染者が連日100人を超えた事等から、新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催されました。その中で、従来のイベント開催制限については2月28日まで期間を延長すること、また県民に対し感染リスクが高まる「5つの場面」に注意することが要請されました。

伊丹市におきましても、11月16日に市立伊丹病院の職員から感染者が確認される等、なお一層の警戒が必要となっており、県の方針に合わせて、「新型コロナウイルス感染症に係る伊丹市対応方針」を改定しました。

市民の皆さまにおかれましては、皆さまの大切な方の生命・健康を守るため、感染リスクが高まるとされる次の「5つの場面」にご注意願います。

- 1 飲酒を伴う懇親会等
- 2 大人数や長時間におよぶ飲食
- 3 マスクなしでの会話
- 4 狭い空間での共同生活
- 5 休憩室、喫煙所、更衣室等

特に飲食店を利用する場合には、家族や介助者等を除き「4人以下の単位」ごとになるようにご協力下さい。

また引き続き、バスや電車の車内等でのマスクの着用、そしてこまめな手洗い等「新しい生活様式」に取り組んで下さい。特にこれからの季節に、暖房を使用する場合でもこまめな換気をはじめ、3密（密閉・密集・密接）の回避にご配慮をお願いいたします。